

ホットな観光の街 玉名

玉名市の紹介

熊本県北部に位置する人口 71,384 人の街(玉名市ホームページより)

主な特産品・・・有明海苔、イチゴ、トマト、高瀬飴など



観光の見所・・・玉名温泉、玉名ラーメン、
花火大会、高瀬裏川のハナショウブ
荒尾・玉名地区は熊本県内において
阿蘇・菊池地区について観光客数が多い)

高瀬裏川のハナショウブ
地域活性化センターホームページより引用

玉名市中心地域における観光産業の課題

温泉・ラーメン以外のイメージの欠如

今までに存在していたイメージだけでは、新たな観光客数の増加は見込めない。

宿泊客数の割合が低い

平成 18 年度荒尾玉名地域滞在者 7,323,000 人中、宿泊客は 316,400 人

全体の約 4.3% (熊本県の平均は約 10.8%)

また、観光客数最多の 5 月(822,500 人)に比べ、観光シーズンである 9 月から 11 月にかけて
一月当たりの観光客数が約 50 万人台と伸び悩んでいるのも特徴。(熊本県観光統計表より)



玉名市中心部地図
きになる!くまもとホームページより引用

玉名駅から温泉街へのアクセスが悪い
駅から温泉街までは約 2km 離れている。駅から温泉街までバスやタクシーを使わない限り、アクセスしづらい。また、バスやタクシーを用いた場合、歩いて街を巡るのに比べ、他の観光名所や店に寄り道するような機会が失われる。

九州新幹線玉名駅の建設による影響
新玉名駅は、鹿児島本線玉名駅とは約 2.5km 離れた位置に建設される。新幹線を利用し訪れる旅行者が玉名市中心部に訪れてくれるかは未知数。

目標

温泉・ラーメン以外のイメージを創る
観光客滞在型の街づくりを目指す
玉名駅から温泉街、
九州新幹線新玉名駅周辺の環境整備

対策

①温泉・ラーメン以外のイメージを創る

アートの街づくり

玉名市出身で活躍された、または活躍されている方・・・俳優笠智衆さん、

服飾デザイナー植田いつ子さん、彫刻家前田忠一さんなど

グレン・ミラー音楽祭といった音楽祭も開催されており、玉名市の海外との交流機会を生み出している。

——→ 観光客数が低調な秋に芸術祭として玉名アート祭、通称

「玉な-とピエンナーレ」-みんなでひとつの玉- を一ヶ月間かけて開催。

テーマは玉（球）を用いる、玉に関するまたは玉名に関する作品ならば映画、演劇、舞踊、絵画、工芸、デザイン、大道芸、料理等何でも自由とする。

ボランティアの活動、フリーペーパーの配布、ワークショップの開催などにより、観光客、住民をあわせた共同体験の場を作る。また、アートの街としての雰囲気をも高めるために彫刻を街の各所に配置。それと同時に、玉名からアートの新たな才能を発掘する。

温泉、ラーメンのようにホットなアートの街を目指す

②観光客滞在型の街づくり

足湯を市内各所に整備

観光客は、玉名の市街地を巡るうちに何回も足湯を体験でき、健康になれる。住民と観光客と交流の機会にもなり、心がほっとする、ホットになる。



足湯イメージ
玉名温泉公式サイトより引用

高瀬の街並み再生

もともと高瀬地区は商人の町。町屋を保存、有効利用し活気を取り戻す。町屋の街並みを再生し、住民の我が町意識、景観意識をホットにする。



高瀬の代表的町屋、高瀬蔵
asahi.com より引用

③玉名駅から温泉街、 そして九州新幹線新玉名駅周辺の環境整備

物産館の整備

玉名駅前には現在閑散とした状況。物産館を設け、JRの利用だけでは訪れにくい玉名郡市の名産品も販売する。新玉名駅周辺にも物産館を設ける。

物産館と足湯を同じ場所に設置し、滞在最後の思い出作りに利用してもらおう。また着てみたいというホットな気持ちを抱いてもらう。

交通網の整備

玉名駅と新玉名駅を結ぶ連絡バス、そしてレンタサイクルの導入が必要。観光客は自転車で「玉な-とピエンナーレ」会場を巡ることができる。

県外から玉名駅へのアクセスを良くするために、特急が必ず玉名駅に停車するようにする。

交通アクセスもホットに！

新玉名駅建設による周辺整備予定地

対策後の玉名市中心地域地図



記号の説明

- 温泉旅館・ホテル
=観光客の宿泊場所
- ◆ レンタサイクルスポット
=観光客の足
- ★ 足湯スポット
=観光客の楽しみ・くつろぎの場
=観光客・住民の交流の場
- ラーメン店
=観光客の食の場所
- レンタサイクル利用時
予想される観光客の主な移動ルート

玉名ラーメン協議会公式サイト
ヤフーホームページ参考

この領域内全体を「玉なーとビエンナーレ」中心会場として作品展示に用いる
 玉名駅から新玉名駅まで領域全体のテーマをアート中心に魅力的な街づくりをする
 観光客は領域内をレンタサイクルを利用して巡る
 さらに、領域外にも作品を展示することで、玉名市中心地域を滞在地として
 玉名郡市の他地域にも足を運んでもらう。

まとめ

対策

温泉、ラーメン、高瀬の街並み、
 そしてアートをテーマとして泊まって
 楽しいホットな街を目指す
 観光客と住民が共にホットな心の交流を
 行える場所を創る
 レンタサイクルなどで交通をホットにする

期待される効果

観光客数、特に宿泊客数が増加し、
 観光業が活性化する
 観光客と住民との交流が増加し、メディアや
 口コミにより玉名市の知名度が高まる
 街並み再生などによって、玉名という土地に対
 する誇りが住民の間に生まれる